

令和8年度 第1回松山地域協議会会議録

日 時 令和8年6月30日（火） 午後1時30分～3時30分
場 所 松嶺コミュニティーセンター

出席委員 12名

荘 司 徳 由	岩 崎 彩	小 林 正 利	石 川 百合子
齋 藤 頼 雄	新 館 武	新 館 芳 子	荘 司 東 一
池 田 重 悦	遠 藤 均	白 旗 仁 美	井 上 亜紀子

欠席委員 3名

渡 部 謙 二 櫻 田 憲 彦 後 藤 由 美

酒田市出席者

松山総合支所長	真	真	真
松山総合支所長補佐兼地域振興係長	佐	佐	佐
松山総合支所長補佐兼市民福祉係長	遠	遠	遠
まちづくり推進課課長補佐	土	土	土

1 開 会

○開会の言葉 佐藤支所長補佐

2 会長あいさつ

○小林正利会長よりあいさつ

3 議事録署名人の指名

○事務局より議事録署名人に、齋藤頼雄委員を指名

4 報告

（1）酒田市地域コミュニティ推進計画の策定について（まちづくり推進課）

～まちづくり推進課 土井課長補佐より説明～

・今後ますます、人口減少や少子高齢化の影響により、地域コミュニティの維持や運営に課題があると考えられることから、地域コミュニティ推進計画の策定が必要との考えに至った。

- ・令和5年にまちづくり協働指針を策定しているが、これは全市統一のものであり、基本的な指針となっている。今回策定する計画は地域毎のアクションプランといった位置付けになる。併せて、行政課題の支所の在り方や公共施設の在り方について皆様の意見を聞いていきたいと考えている。
- ・計画の策定にあたり、2種類のワークショップを考えている。Aは地域の運営の在り方についてワークショップを行い、地域コミュニティの課題や機能維持、活性化について計画に盛り込んでいきたいと考えている。Bは地域の施設について、総合支所の在り方、公共施設の在り方等について、ワークショップを行い、将来的な方向性を見出したいと考えている。
- ・この計画は、中学校区を一つの単位として、今年は、鳥海八幡中学校区、東部中学校区において計画を策定し、計画期間は5年と考えている。

(小林会長)

先日、地域コミュニティ推進計画策定に係る原案作成委員会に委員として参加してきた。近々各コミュニティ振興会に委員選出の依頼が来るとのこと。選出はお任せするとのことであった。

(莊司東一委員)

教育委員会の会議録をみると、酒田型スクール・コミュニティを推進していくとあるが、この酒田市地域コミュニティ推進計画は、どのように教育委員会と融合して進めていくのか。

(まちづくり推進課長補佐)

酒田型スクール・コミュニティは、子供を縁（えにし）として学校と地域が目的・目標を共有し連携して地域づくりを行うといった内容になっているが、地域コミュニティ推進計画は、それも含めて、どのようにして地域全体を維持、活性化していくかといった計画となっている。スクール・コミュニティと重なる部分があるので、本計画の策定にあたり、社会教育課からも関係課として入っていただいている。情報交換しながら進めていきたい。

(莊司東一委員)

市としていろいろな形で議論が活発化していくのはいいことだが、我々としてはどこがどのように調整して進められていくのか疑問に思っている。計画策定を進めていく中で、情報を流していただければ安心できる。

(小林会長)

非常に範疇が広く、どこまで意見が広がるのか不安であるが、多数出た意見を集約して

いただけると思っているか。

(まちづくり推進課長補佐)

「さかポス」を開発した業者を入れ、すべての発言を録音してA Iを使って意見を集約していくと聞いている。皆様の意見をいただきながら、ワークショップをやったのに意見が反映されていないということがないようにしたい。

(小林会長)

広報等使用して、電子の苦手な方にも情報を流すようにしていただきたい。

5 報告

(1) 令和8年度松山総合支所管内の予算について

～支所長より説明～

(小林会長)

松山歴史公園の屋外トイレ改修とあるが、どこにあるトイレのことを指しているのか。

(支所長)

茶室と上堰側の駐車場の間にある、道路沿いにある屋外トイレのことを指している。現在は故障により使用禁止となっているが、秋のクラフトフェアの前までには改修していただくことになっている。

(小林会長)

デマンドタクシーの扱いは、路線バスと変わってどうなっているか。

(支所長)

デマンドタクシーを含めた公共交通機関については、都市デザイン課において、これからの方策を含め次期地域公共交通計画の策定の中で検討している。デマンドタクシーについては、使いにくいといった利用者の声を取り入れ、改善しながら現在に至っている。ただし、利用率を度外視できないのと、運転手不足などにより、運行するタクシー業界から賛同をいただけないと先に進めない状況であるため、簡単に増便ができない状況を勘案したうえで改善する方向で進めている。

(小林会長)

地域産業、観光、文化については、現状通りと思っているか。

(支所長)

良くも悪くも現状通りとなっている。ただしクラフトフェアなど外郭団体主催については独自財源となっているので、自前で出来るものは自前でやっていけるようになればいいのではと思っている。

(荘司東一委員)

市の主要事業の中の「クマ、イノシシ等の野生鳥獣への対策」で、予算は松山支所管内にどのように配分されるのか。

旧松山中学校の敷地が手入れされておらず、木が伸び放題になっている。私の加入している心光寺沢農道協議会において、学校敷地の草木が繁茂し農道に影響を与えているため、何とかならないかと必ず要望が出てくる。さらにハクビシンなど野生動物が農作業中にも出没している。住宅地にも近いことから、市の土地でもあるので適正に管理していただきたい。松山総合支所で予算化することはできないか。

(支所長)

市の考え方として、総合支所ではなく所管課に予算を配分する仕組みになっている。市の施設管理部門に予算と人員を配置し、市全体を見るという考え方になってる。市民生活に影響があるということであれば、私から所管課へ申し伝える。直近でも、住民の方から要望があり、旧松山中グランド法面の木の剪定をしていただいている。旧松山中は範囲が広いため全部対応できるわけではないが、出来るだけ対応していただくよう申し伝えたい。ただし、いつまでにやるといった具体的な回答は出来かねるので、ご了承いただきたい。

有害鳥獣に関しては、市全体でクマだけではなくイノシシの被害が大きくなっていて、対応に苦慮している。被害が出ているなど生活に支障が出ているということであれば、具体的なお話をお聞きして対応を検討したいので、総合支所に一度ご相談いただきたい。

(荘司東一委員)

私としては、地域協議会にて旧松山中学校の施設の活用を含めて訴えていきたいと考えている。会長からもぜひご協力いただきたい。

(小林会長)

今後のテーマを検討する際に、ご意見いただきたい。

(2) 令和7年度市長報告会について

～支所長補佐より説明～

(支所長)

イオンモール三川無料シャトルバスの松山延伸について、市長より支所長から直接申入れをするよう指示があった。先日、イオンモール三川の責任者へ申入れを行った。結論としては新規の路線変更は現状では難しいとのことだったが、松山観光バスから発着しているので経費がかからないので検討いただくようお願いしてきた。イオンモール三川におい

て、福祉施設向けに出張販売を新たに手掛けており、そのような形態であれば連携は出来るかもしれないと言われている。移動手段ではなく買物支援の手段として検討の余地はあるかと考えている。引続き、協議をしていくので、時間をいただきたい。

(小林会長)

山寺地区で、100歳体操に合わせて移動販売車の巡回を始めようと検討してきたが、6地区しかないがすべてをまとめられない状況。足並みが揃っていないが踏み切ろうかと考えている。市の支援メニューもあるようなので各コミセン単位でも検討いただきたい。

(3) 令和8年度地域協議会の進め方について

～支所長補佐より説明～

ワークショップ形式で、地域で実現可能なテーマで深堀りをしていき、令和9年度以降の実現に向けた議論を行いたい。市長報告会においては、継続して行政に訴えていくものと併せて、地域でこのような取組みを行っていくといった前向きな内容で報告したいと考えている。可能であれば、本日のテーマ決定もワークショップ形式で行いたいがいかがか。

(支所長)

要望よりも一段進めて、松山地域は自分事のように考えて、やる気が違うという姿勢を見せたい。要望するだけではなく、課題解決の方法も提言したい。

(小林会長)

こちらからこうやりたいと訴えた方が市の方も乗ってくれる感覚があった。ぜひプラス思考の提言を市長へもっていきたい。

(池田重悦委員)

「眺海の森さんさん」について、市長からいろいろ考えていただき、現在一生懸命再開に向け汗をかいていただいている中で、さらに別の提言をすると混乱を招くのではないか。

(支所長補佐)

今回のワークショップで、継続して市に要望していかなければならない長期的な課題と、地域の中で解決できる短期的な課題に分けて、実現が可能と考えられる短期的な課題について深堀りしたいと考えている。

(池田重悦委員)

以前、十数年前に地域協議会の委員を務めた際も、全く同じことを行った。結局お金をかけないで出来る方策ならすぐできるとなり、「さんさん」の利用促進のためお金をかけないで出来る方法を考えてと言われたが、簡単にできないから現状となっている。市でも考えた末、「さんさん」を利用する企業の誘致しかないとなって停滞しているのでは。ここで

意見が出て実現できれば何も心配はない。

(支所長補佐)

「さんさん」の再開はかなり難しい課題となっており、市へ継続して提言していく長期的な課題と考えられるため、ここで話合っても解決は難しい。ほかにも課題があるので、その中から解決ができる課題を見つけて、皆さんで検討いただきたい。

～ワークショップでのテーマ検討を実施。内容は別紙のとおり～

6 その他

(新館武委員)

合併して20年が経つが、市として合併後の総括はしているのか。当初の思惑と大分食い違っているのではないかと。各部門で総括して将来のために残しておいた方がいいのではないかと。

(支所長)

個別具体的な総括をしたということは聞いていないが、次期総合計画では、当然そのようなことを踏まえて計画策定していくものと思われる。地域コミュニティ推進計画もそういった考えで進められるものと思われる。この場で話し合いをして提言していくという手もある。

6 閉 会

(小林会長)

ワークショップにおいて多数の意見を出していただき、時間内にテーマが絞り切れなかったため、今回出た意見より、事務局と相談して次回以降のテーマとさせていただく。次回以降もご協力をお願いします。